令和４年度

志学ゼミ　田端本部校

春期講習のお知らせ

3/26(土)～4/４(月)

＊　講習は、**3/27(日)、4/3(日)を除く**毎日です。
＊　費用にはテキスト代が含まれます。
＊　兄弟割引はありませんのでご了承ください。
＊　**選抜クラスは講習の内容が年間スケジュールに組み込まれています。参加されない場合は進行が遅れますので、クラスの変動が生じる場合がございます。ご了承ください。**
＊　小５～中３生は 4/４(月)9：00～進路判定テストを実施します。授業はありません。
このテストでは小・中生共に、後日偏差値が出ます。講習に参加しない生徒も受けるようお願いします。
＊　高校生は４／４(月)に実力判定テストを実施します。

＊　春期講習中、通常授業はありません。４月の通常授業は 6 日(水)からです。(通常の月謝となります。)

さぁ、新学年のスタート！
スタートダッシュの波に乗ろう！

〈塾長からのメッセージ〉

合格する３原則。「人生においても大切な事としてまずは計画性、次に集中力、そして練習量」という話をよくします。そして運を良くする話として塾生に「ネガティブな話をしない。ポジティブな発言をすること。他人のせいにしない」を伝えています。

何事もそうですが１年の計は元旦にありと申しますが、塾では３月が学年の切り替わりです。新学年のスタートはまさに１学期。その予習をするのですから「新学年の計は３月１日にあり」と言っても過言ではありません。そしてこの春期講習で確実に１学期分を終えていくのです。自分で自分を楽にするのは今です。学校で初めて聞く内容が理解できないから勉強が分からないとなるのです。「学校は復習」というスタイルを身に付けていくと学校の授業は復習になります。ですから春は予習。スタートダッシュの季節です。ここで手を抜くと後でしっぺ返しが来ます。英語が３年間得意になる中１の春。英文法を身に付ける高１の春。さあ、この波に乗って本気でトップクラスを目指そう！

〈保護者様へ〉

計画を立てたことを実行する。そしてやり終える。昔から言われていることですがそこには「やり抜いた」という達成感をもつ事が出来ます。その小さな成功経験を春に持つことが今後の１年間の学習への取り組みの布石となるのです。「決めたことをやる」これは簡単そうで難しいことです。ですから私達がサポートいたします。一見無理だと思えることでも「くりかえし」「できるまで」「わかるまで」の志学魂（イズム）でやり抜くことを是非とも体感してほしいと思います。そのための時間外補習も厭いません。「できるまで」お付き合いさせて頂きます。「やればできる」この経験を持つための講習です。

そして子供が出来たことを認める。些細なことでも子供がやれたこと、出来るようになったことを話した時は、仕事の手を止めて耳を傾けてください。そうしてにっこり微笑んで「すごいね。やったね」とほめてみてください。親に認められた子供は伸びていきます。春は命が芽吹く季節です。ドンドン認めてお子様を伸ばしていきましょう。

合格環境を作る志学の７つの法則

①　受験ができる「ありがとう」

高校、大学は義務教育ではありません。行かせてもらえるのです。もちろん自分一人ではどうしようもありません。保護者様がいてこそ受験ができるのです。自分を支えてくださっている保護者様に感謝をすること。何事にも「ありがとう」と言い感謝をすること。

②　合格の必然性を作る

合格するには合格の必然があります。偶然には合格はしません。まずは決めたことを日々やり抜くこと。自分の学習計画を守ることが何より大切です。それの調整日が日曜日です。日曜日は遅れていた分を取り返したり、間違えをやり直す日です。

③　自分を応援してくれる環境を自分で作る

誰しも気分よく勉強し、気分良く入試に向かいたいところ。そのためには自分が言ってほしいこと、してほしいことをまずは人にすること。誰しも褒められたり感謝されるとうれしいもの。それを自分から先にやってしまうこと。「情けは人のためならず」です。

④　人の合格を喜ぶ

先輩、同輩、後輩が受かったら壁に名前が貼られますね。その際、拍手が起こります。他人の合格を喜んでいると自分も喜ばれるものです。是非とも知らない先輩、後輩の合格を喜んでください。

⑤　親に逆らわない、反発をしない

物事には循環の法則があります。特に自分をバックアップしてくれる親、保護者様に対して反抗、反発をすると妙なもので試験問題が自分のいやなところ、苦手なところが出てまいります。ですから反発をしないことが肝心。逆に親から認められたら世間から認められたことにつながりますから合格へ大きな一歩を踏み出したと言えるのです。

⑥　無駄な感情を使わない

無駄な感情を使うと勘定が合わなくなるとはよく言ったもの。腹を立てると腹を立てたくなる状況がまた生まれてきます。怒りはまた怒りを呼ぶのです。そうすると精神的な安定が得られないばかりか反発につながります。喧嘩も同様です。言い争いは避けるべきです。

⑦　掃除をする

掃除をする意味は自分を磨く、感謝の気持ちを持つなど多々ありますが、神経過敏な受験生には「気が付かないことを気付く」というお話をしています。１か所掃除をすると隣も気になってきますね。ですからそこに気付きがあるのです。ですから物事を多角的にみる練習になっているのです。また整理整頓は心身をすっきりさせることは間違えありません。

成績向上のための志学八策

受験生になったらやるのではない、真剣に成績を上げることを考えるなら

① 期日を決めた計画を作る

「いつまでに何をする」まずこれを紙に書きだす。そして口にする。目に見えるところに貼る。毎日読む。何事も期日を決めることが大切。部活をやっている諸君はよくわかると思う。試合の日は変更できないのだ。１つできると次もやれる（小さな成功体験）が次のチャレンジにつながるのです。

② 週単位でスケジュールを見直せ

何かをやろうとすると計画を立てます。テスト勉強もそうですね。しかしなかなか予定通りいかない場合も出てきます。そこで必要なのが調整日。スケジュールを見直したり、遅れを取り戻す日が必要なのです。その日を日祭日に置くとよいのです。ですから計画通りにいかなくともあせらない、やけにならないことが大切です。調整すればいいのです。

③ ホウレンソウは仕事だけではない

「報告」「連絡」「相談」の頭の部分を取って「ホウレンソウ」といいます。
スケジュールがうまくたてられない。スケジュールがうまくいかない。そんな場合はよくあることです。そんな時は１人で悩まないことが大切です。担当講師をはじめ、保護者様に報告、連絡、相談をして問題解決の糸口をつかむことが大切です。他人と話をしていると気分がすっきりした。自分の中で整理がついた経験はあるかと思います。うまくいっていない場合はネガティブになりがちですからなおのこと話を聴いてもらう必要があります。

④ プラス思考を維持する

「どうせやったって」「俺は（私は）は〇〇が苦手だから」という発言は自分の体が聞いています。そうするとマイナスイメージが体に染みついていきます。
ですから、そういった発言を意識して使わないこと。プラスの発言を意識してすること。「できる」「できる」という言葉は自分からプラス思考へと導きます。プラスのエネルギーを出していくとプラスの志向の人を引き寄せプラスの状況が生まれます。

⑤ 「未来地図」をつくる

自分の将来の夢、やりたいこと、なりたいことを写真入りで紙に貼りだします。受験は人生の通過点。目標があるから勉強をする。という根本を忘れてはなりません。やらされる勉強から自分でする勉強にするためには、この将来の目標がいかに大切かが分かります。志学では毎年、未来地図作成のプロ講師をお招きして夏にこの未来地図を作りますが、作っていない諸君、今すぐ将来の夢、やりたいことを書きだし、自分の写真、将来の夢の写真を貼りつけて机の前、自分が一番目にするところに貼りつけること。

⑥　掃除をする、整理整頓をする

勉強を始める前に整理整頓ができているかどうかを確認すること。整理整頓がなされていると気分がすっきりとするばかりでなく、頭の中が整理されて物事の判断がしやすくなります。

また掃除をすることは非常に大切なことです。特に私もトイレ掃除をしますがトイレ掃除は非常に有効です。まず日頃どれだけ掃除をしているかに気が付きます。きれいに保つために自分がしていなくとも誰かがしていることに気が付きます。**感謝の気持ち**が出てきます。そうしたらすくなくとも自分が使用した後は掃除をすべきです。きれいになると気分がいいものです。磨くことは**自分磨き**でもあるのです。また掃除をしていくとどんどんと掃除をしなければならない場所が目についてきます。**「気が付かないことを気付く」**という効用に出会います。物事を多角的に見ることができるのです。そして積極思考になってきます。私もそうでしたがトイレに物を落さない限り素手でトイレに手を突っ込めませんでした。頭でわかっていても実際にはできないことがありますがその壁を取り払ってくれる効用が何よりです。

⑦　ライバルを作る

塾の良さは、仲間と一緒になって学ぶこと。誰かに負けたくないと思う気持ちは大切です。隣で黙々と問題に取り組み、解いている友の姿に自分も負けまいと思うことは大切なことです。**良きライバルに恵まれるとお互いがプラスになり良き刺激になります**。昨年も中３クラスの数学の入試問題を競って解く姿がありました。左記に解くと得意げにしたり、先に解かれると悔しさを浮かべたりしていました。大いにお互い啓発する仲間を持ちたいものです。

⑧　原因結果を考える

何事にも因果関係があります。人がうまくいったことをうらやむのではなく喜ぶこと。そしてどうしてうまくいったのかを聞いてみる（成功者に学ぶ）。逆に自分がうまくいかなかった場合は**「どうしてそうなったのか」を考え分析する**こと。因果関係は必ずあります。１人で悩むより保護者様、担当講師、先生に聞いてみることが大切です。１人で考えると独断と偏見に陥ることがあるので注意。ですから人の成功談、失敗談に耳を傾けることが大切なのです。

一年の計は春期講習にあり　俺たちについてこい！！

小学生クラスの皆さんへ「１年先の学年のことを解こう」

大学入試センター試験に記述が加わります。ですから、要約をやっていく必要があるのです。毎日の勉強の習慣としての計算、漢字検定、算数検定、各自が進学予定の公立中学校の英語教材を繰り返し読み込んでいきます(小６)。また、復習テキストで算数をチェックします。**間違え直しノートで再度、家でやり直しをしていただきます。**国語は文のつながりを意識して文章を読み、作文を書いていただきます。何が言いたいのかを文章を読んで考えてもらいます。**特殊計算の問題を方程式の前提となる〇を使った式で解いていきます。**算数の入試レベルに入れるみなさんはレベルアップした問題集に入って参ります。**選抜クラスは一学年先をやります。**小学生から積み重ねていかないと１年先の勉強は難しいのです。選抜クラスは小学生からの参加者で固められます。講習は年間スケジュールに入っています。小５は小５の内容をふまえつつ小６の内容へ、小６は小６の内容をふまえつつ中１の内容の終了を目指します。**漢字検定、算数検定、英語検定を年３回受けていきます。小学時代から目標を立てて中３では準２級、２級を目指します。**

「１学年先を学ぶことを目指して、
学校は復習というペースを作っていきましょう」

飯倉より

新中１諸君へ「中１の１学期の成績が３年間を決める！」

各自の教科書を読み終え、訳し、暗記する。少なくとも**１学期分は最低限終わらすことが志学の伝統**です。**音読をひとりひとり聞いて確認致します。**各自の中学で使用する英単語、教科書の問題集、教科書プリント、英語問題集等も必ず提出して頂き、添削をします。ここでピリオドやクエスチョンマーク、大文字、小文字の間違えをチェックします。「～は～です」という主格と Be 動詞。「私は」、「私の」等の区別。「Be 動詞」「一般動詞」の使い方をチェックしてできるようにして中１の勉強を引き続き行ってまいります。数学ももちろん中１の予習を引き続き進んでいきます。文字式、方程式、図形をこなしていきます。**小学時に中１を終えた皆さんは中１の復習を行いながら中２に入ります。**選抜クラスは中高一貫校と同じペースで進みます。標準クラスは学校より先、**学校は復習**と言うペースを作っていきます。講習は年間スケジュール進行予定に入っていますので、参加されない場合はクラスが移動することがあります。ご了承下さい。**「中学に入る前の勉強が中学生の勉強を大きく左右することは間違いありません。この春期は最も大切な期間です！！」**芳賀より

新中２諸君へ「予習の大切さを知る者だけが先に進められる！」

３学期は「どうしてこんなにテスト範囲が多いのだろう」と思った諸君。英語の教科書が読んでは終わりとなっていったことを見てどう思いましたか？そこはやらないの？１学期からの学校の進み具合がこんなにも遅かったのかと改めて思った諸君も多かったことでしょう。「学校は復習」という立場をしっかり守らないとテスト前の理科・社会・国語の学校の範囲の勉強がこなせなくなります。その週の予定はその週で済ます。これを今後もしっかり守ること。それが出来ていない諸君は、まずは英語の予習をスピードアップすること。この春、再び中２教科書の早読み、訳を行います。黙読ではなく音読を意識する。英語の教科書の二年生分は読み終えること。数学の標準クラスは文字式、連立方程式をこれまでの復習をしながら入り、選抜クラスは一学期の内容がすでにおさえてありますので、英・数ともにさらに進行していきます。講習会は年間スケジュールの進行予定に入っています。参加されない場合は進行によってクラスの移動となることもございますのでご了承下さい。

「一年生に引き続き二年生の英語の点数が取れてくるともう得意科目になる。
この春の取り組みが得意科目につながるぞ！！」飯倉より

新中３諸君へ「時間の使い方を学べ！」

先輩の後姿を見ながら、入試の厳しさを感じた諸君。いよいよ諸君が入試の年を迎えます。先輩も部活と受験を両立させてきました。一人ではできなくともみんながいるからできるのです。部活がありますので時間の使い方をうまくすることが肝心です。標準クラスは中３の英語の教科書の予習、数学の展開、因数分解など中１・２年の復習をしながら進みます。発展クラスは中３の一学期の内容がすでにおさえてありますので、英・数ともにさらに進行していきます。真の実力をつけて一年かけて入試に向かってまいります。内申アップと実力を向上させることで志望校を自分の手にしていこう。夏休みで中３課程は終了します。講習は年間スケジュールに組み込まれています。参加されない場合はクラスが移動することもございます。ご了承下さい。

「常に偏差値・内申を意識して、志望校よりも点数を上回ること。
春の勉強が大きく影響します！！」芳賀より

新高１諸君へ　「春の予習が高校時代を決める！」

講習から講習までのやらなければならないことを確認チェックして進みます。冬期講習後に出来ていること、出来ていないことを確認しました。具体的な項目を書き出していつまでにやるということを決めて進んでいます。高校受験が終わってほっとしている諸君が多いかと思いますが、中高一貫教育の諸君はすでに大学入試に向けてのスタートを切っています。スタートが遅くなれば、その分取り返すのが遅くなります。志学ゼミでは３月より、すでに高校クラスがスタートしています。まずは英文法の基礎を一通り終えて鉄人自ら教える「ひたすら英文法」を、高１で２度繰り返すつもりです。高１からしっかりやるものだけが「目指せ、共通テスト９割」といえるのです。数学では数ＩＡ 講座が始まっており、教科書レベルの基礎からみっちり行います。「学校は復習」というスタンスを中学時代に培ってきましたね。これを高校でもしっかりとやり抜くための予習がこの春のテーマなのです。各学校とも春休み明けには、休み明けテスト、クラス分けテストが行われます。義務教育は終わりました。やるものだけが先へすすめます。高１から大学入試共通テストレベルの模試を受けていただきます。

「次の目標である大学に目を向けること。
この春の取り組みが高校生活を変えます！！」鉄人より

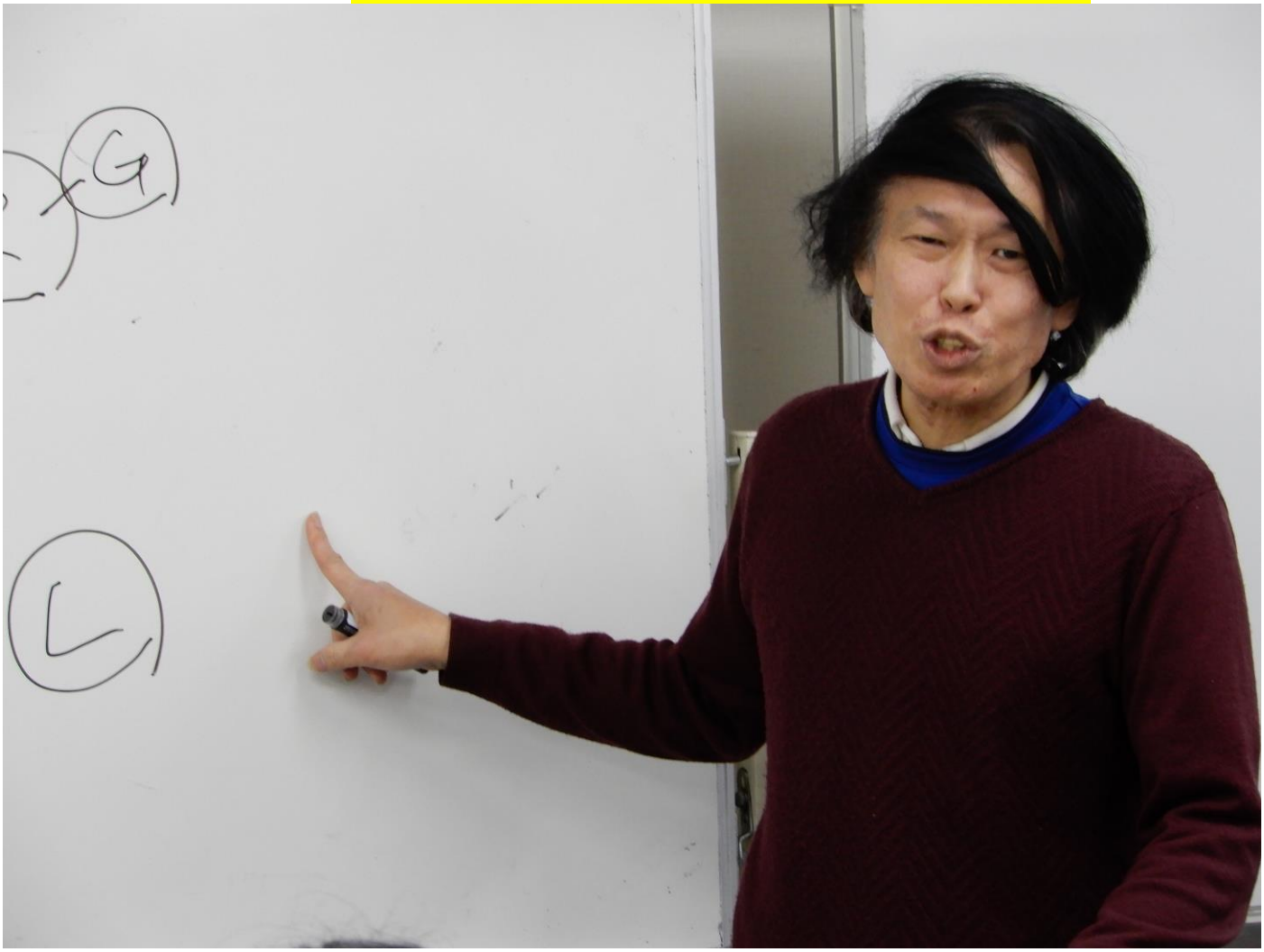
新高２諸君へ　「目標大学を意識せよ！」

文系、理系の選択が行われましたが、将来の職業、興味のある事柄などから学部、学科を決める学年になります。理系は２年生の理科の内容に何に興味を持つかで学部学科が見えてきます。文系は学部の違いをしっかりと調べる必要があります。いずれにしろ２年のうちにはオープンキャンパスに行っておくことです。そして目標大学を決めることが大切です。その大学の入試科目、配点を見ておくことが大切です。文系は英語の配点が他の教科に比べて高いことがわかると思います。理系は英語が苦手な諸君が多いですから、英語の出来で大学が決まると考えていいでしょう。ですからこの春は、基礎英文法が固まっていない諸君は英文法の早急なチェックをする必要があります。基礎英文法が固まってきた諸君は標準レベルと長文の基礎に入ります。センターレベルの長文の読み方が徐々に本格化していきます。まずは６０点をコンスタントに超えること。

数ＩＡの復習と数ⅡＢの夏休み完成に向けて、教科書レベルの基礎、章末問題、各自の問題集の標準レベルをしっかり解けるようにしてまいります。数ＩＡの共通テス

トレベルで６０点をコンスタントに超えることが一つの目安です。
　国語は古典文法の再チェックを行います。現文の語句、古語をコンスタントに覚えていきます。古文基礎文法を抑え直し、基礎的な文章を読み始めます。
「目標大学・学部を決め、その大学の受験科目を意識すること。
志望校を設定し一歩一歩近づいていこう！！」相澤より

新高３生諸君へ　「時間を横に使う習慣化が始まる！」



いよいよ受験の年となりましたね。理科・社会の選択科目も決まり、受験モードですね。英語は英文法が固まっていない諸君は基礎をしっかりと叩き込んでください。基礎が固まりつつある諸君は、共通テストレベルの、文法問題、長文がこなせることが目標となります。英頻をしっかりと覚えて、単元を通してやり抜くことの課題が増えていきます。共通テストレベルの模試ではまずは基礎レベルは５０点、標準レベルは６０点、発展レベルは８０点をコンスタントにとれるように取り組んで参りましょう。今回の共通テストの英語の最高点は９８点。古文満点２名。
　数学は最終的には数ＩＡ はセンター満点を目指しています。共通テスト基礎レベルをこなせることがこの春の目標です。目標はまず数ＩＡが６０点、数ⅡＢが５０点を超えることです。
古典は古典文法が出来ていない諸君は古典文法の基礎を、基礎ができている諸君は標準レベルの古典文法を行い、共通テスト基礎レベルの古文を読んで参ります。漢文の基礎も同様に行います。

「先輩の大学合格が教室に貼られていきましたね。次はみんなの番です。
一年後そこに自分の名前が張り出されました。感謝します！！」

鉄人より

個別指導諸君へ「苦手科目を克服し予習に入る!」

３月上旬より春期講習に入ります。各自の日程を調整して「何を、いつまでにやるのか」を個々に話し、スケジュールを組みます。この時期は苦手科目を克服し１学期の予習に入ることです。例えば英語が苦手な皆さんには、中学生は教科書の読み直し、単語の覚え直し、高校生は英文法のやり直しに力を注ぎます。志学ゼミは大学入試まで全科目対応型の塾です。中学生は理科社会等日頃出来ていない科目を勉強する。高校生なら入試科目の理科社会を勉強することも可能です。

この春、「何ができるようにするために自分は何をいるまでにやるのか」をしっかり頭に入れて書き出してスタートしましょう。

「決めて事を期日までにきっちりこなす。そうすると自信が付きます」中井川より

「くりかえし」「できるまで」「わかるまで」

春期講習会のお知らせ

春期講習会の期間は３月２６日から４月４日になります。（日曜を除く）
４月４日（月）小５～中３は塾内テストを朝９：00 から行います。
※高１～３は４月４日（月）実力判定テストを行います
各学年の時間と金額が以下の通りです。
講習会は全員必須参加ですが、諸事情により受講されない場合はご連絡ください。

学年	時間	料金（税込み）
新小５	９：00～12：00 小５の内容の先取りと各クラスでの重点課題に取り組みます	￥23,760
新小５ 理社選択	９：00～15：00 小５の内容の先取りと各クラスでの重点課題に取り組みます	￥39,600
新小６	９：00～12：00 小６の内容の先取りと各クラスでの重点課題に取り組みます	￥23,760
新小６ 理社選択	９：00～15：00 小６の内容の先取りと各クラスでの重点課題に取り組みます	￥39,600
新小５ 一貫	10：00～15：10 志望校への合格を目指し、入試の基礎固めに取り組みます	￥41,580
新小６ 一貫	13：00～17：30 志望校への合格を目指し、入試問題の経験を積んでいきます	￥41,580
新中１	16：00～19：00 中１の内容の先取りと各クラスでの重点課題に取り組みます	￥23,760
新中２	18：30～21：30 中２の内容の先取りと各クラスでの重点課題に取り組みます	￥23,760
新中３	９：00～16：00 受験のための基礎固めを行います	￥59,400
新高１	18：00～22：10 18：00～18：50　国語 19：00～20：30　英語　20：40～22：10　数学	￥39,600
新高２	18：00～22：10 18：00～18：50　国語 19：00～20：30　数学　20：40～22：10　英語	￥39,600
新高３	13：00～21：30 13：00～15：00　国・数　15：10～18：10　英語 19：00～21：30　理科・社会	￥87,120

夢
pride